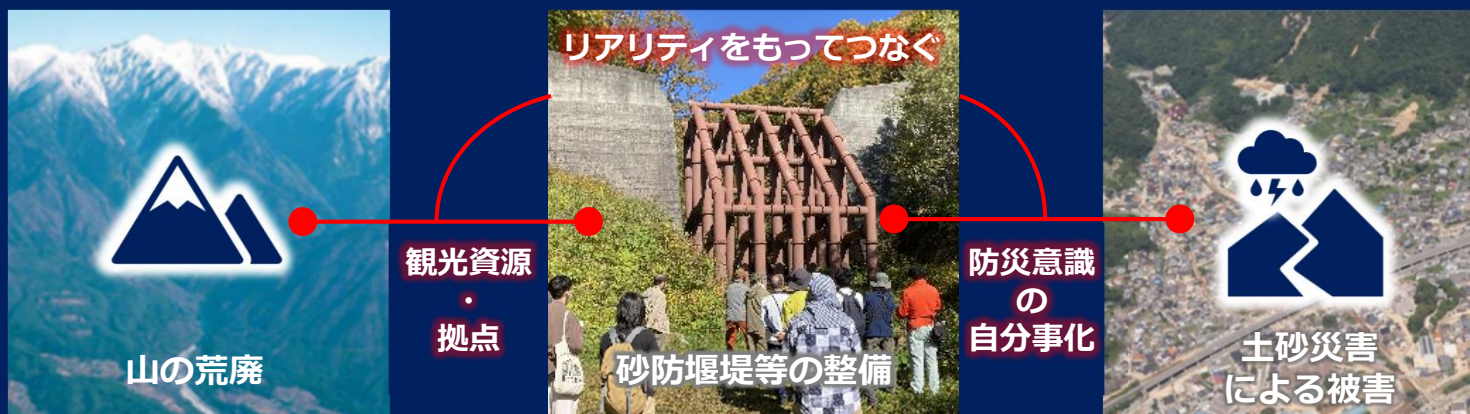


<ダイナミックSABOプロジェクトの概要>

ダイナミックSABOプロジェクトでは、砂防を見て、学んで、体験する資源として活用して、住民等が自分事として「防災啓発」をして、地域や民間事業者が主体となって「地域活性化」していくことを支援していきます。

- 砂防堰堤等は多くが山の中にあり、住民等の目に触れられる機会が少ないために、土砂災害等の自然災害が発生した場合の恐ろしさ、砂防堰堤等の設置目的や役割が、必ずしも効果的に伝えられていない、または正しく理解されていないため、避難の意識、防災啓発につながっていないと思われます。
- 一方で、地域によっては砂防堰堤をはじめとした砂防（SABO）を観光資源・拠点として活用している取り組みがはじまっており、「ダイナミック」で四季のある風光明媚な自然の中に「ダイナミック」な砂防堰堤等の人工構造物がある景色が「ダイナミック」なランドスケープとなり、観光客などに対してリアリティを感じてもらえる新たな機会・視点を創生でき、地域活性化に資することが期待されます。
- このような状況の中、これまでの土砂災害の防止・軽減のための砂防堰堤等のハード対策を着実に進めていくとともに、より多くの住民、観光客などにも、砂防の目的や役割を効果的に伝え、正しく理解していただくために、「ダイナミックSABOプロジェクト」と銘打って、砂防を活用した防災啓発、地域活性化の取り組みを支援していきます。



<ダイナミックSABOプロジェクト支援チーム>

- 「ダイナミックSABOプロジェクト支援チーム」は、国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部が事務局となり、関係都道府県や地方整備局等とともに、取組事例や課題の共有・情報交換を行い、対応案を検討します。
- 実施にあたっては、都道府県、地方整備局等にとどまらず、全国において先駆的に取組を実施している市町村や民間団体等と連携しながら対応します。

市町村・民間団体等

地域のSABOを生かしたい！
防災啓発！ 地域活性化！

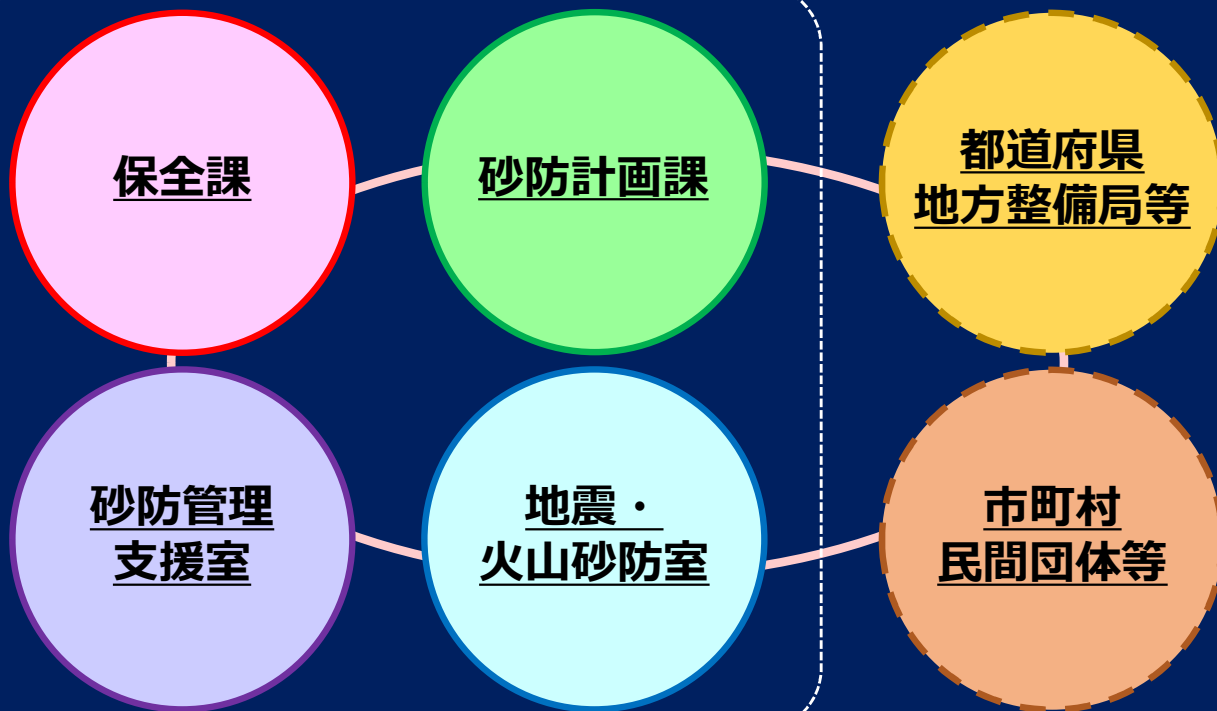
相談・提案
など



先行事例の紹介
関係する制度や組織の紹介 など

ダイナミックSABOプロジェクト 支援チーム

事務局：国交省 砂防部



情報、人、取組をつなぐ

取組事例をご紹介します！



【長野県小谷村】おたりの砂防ダムツアー



↓小谷村観光連盟Web



ダイナミックSABOプロジェクトWeb↑

←里見2号砂防堰堤

↓葛葉山腹工
と床固工

普段は近づくことができない
砂防堰堤を間近で体感！

<概要>

- 実施主体：一般社団法人 小谷村観光連盟
- 施設管理者・事業実施者；
 - ・国土交通省 松本砂防事務所
 - ・長野県 姫川砂防事務所
- 概要；
 - ・小谷村観光連盟が実施主体となり、2012（平成24）年から実施している。
 - ・砂防堰堤などの砂防関係施設のみを巡るツアーなどを企画・運営している。
 - ・開催にあたっては、現地見学における留意事項などを、施設管理者・事業実施者である国交省、県と事前に協議・調整している。
- 参考URL：<https://info-otari.jp/tour/>

過去災害、地形の成り立ちを
しっかり説明！

コーディネータとガイドの説明が
おもしろくて、分かりやすい！

3 コーディネータによる地形変遷の説明

ガイドによる砂防堰堤の説明

【長野県小谷村】おたりの砂防ダムツアー 解説

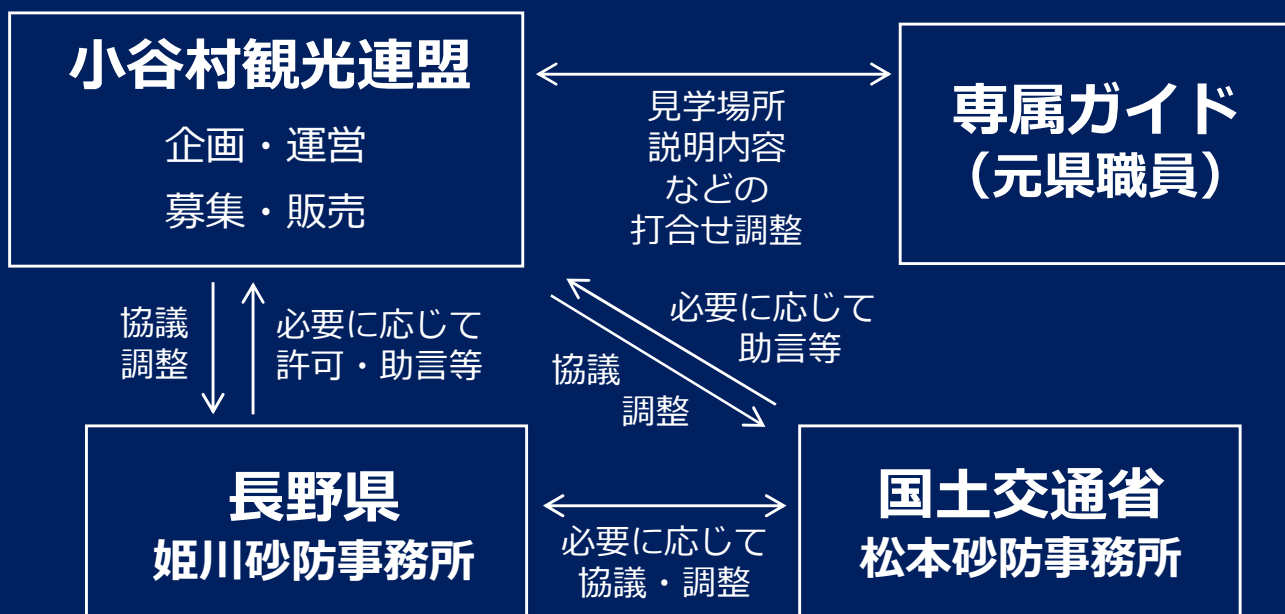
<役割などの解説>

- 一般社団法人小谷村観光連盟
 - ・旅行業（第二種旅行業）の資格を有しており、ツアーのコーディネータとして企画、販売、運営までを実施している。
 - ・企画段階においては、巡る砂防堰堤等の施設、及びそのルートを検討し、関係する砂防施設管理者・事業実施者とツアーの行程や見学にあたっての留意事項等について、確認し、必要な調整等を行い、見学ルート、説明内容等を決定する。
 - ・各箇所の説明ポイント（施設の概要だけでなく、地形の成り立ち、過去の災害などの歴史、経緯等）をコーディネータとガイドにて入念な打合せ及び下見を数回実施する。
 - ・ガイドは元県職員で長野県砂防ボランティアの方が対応している。
 - ・未舗装路・狭小区間などの道路事情については、事前にバス会社と入念な下見を行い、実際に走行可能であるか、悪天候の場合はどうするのか等を決定している。なお、現場条件等から20名程度の乗車が可能なマイクロバスを活用している。
 - ・いずれの打合せ、調整においても、見学者の安全管理について特に留意している。
 - ・見学する施設、ルートが確定した段階で、主にインターネット（SNS）を活用して、募集し、販売している。
 - ・当日の運営では、観光連盟が主体的に対応しており、説明や質疑応答はコーディネータとガイドにより対応している。
 - ・ツアー開始時に、見学における安全管理など留意事項を説明している。
- 姫川砂防事務所、松本砂防事務所（施設管理者・事業実施者）
 - ・事前相談を含めて、見学の可否、見学にあたっての留意事項等について、協議する。
 - ・説明用の工事図面、パンフレット等の提供可能な資料を提供する。
 - ・施設管理者、事業実施者は必要に応じて同行している。

<注目ポイント>

- ・ツアーでは、砂防堰堤の概要を説明するだけでなく、過去の災害や地形の成り立ちにはじまり、砂防堰堤の特徴、工事における苦労話など、日頃なかなか聞くことができない話を聞くことができる。
- ・そのためにも、行程の検討にあたっては、過去の気づき等を踏まえた見直し、改善を常に繰り返し、常に新しい内容が含まれることからリピーターも多い。
- ・令和5年には、『「新」おたりの砂防ダムツアー』『おたりの直轄砂防めぐり』など、新しい企画も打ち出し、開催されている。

<実施体制の概要>



【富山県富山市・立山町】立山カルデラ砂防体験学習会



大規模崩壊、砂防事業の効果を間近で見る！

↓富山県
立山カルデラ砂防博物館Web



ダイナミックSABOプロジェクトWeb ↑

←六九谷展望台
からの鳶崩れ

↓立山温泉の橋
とトロッコ

<概要>

- イベント主催：富山県
(公財)立山カルデラ砂防博物館
- 施設管理者・事業実施協力：
国土交通省 立山砂防事務所
- 旅行企画・実施：民間事業者
- 概要：
 - ・富山県と(公財)立山カルデラ砂防博物館が実施主体となり、博物館が開館した、1998(平成10)年から実施している。
 - ・立山砂防事務所の工事専用軌道(トロッコ)に乗って、立山カルデラと砂防堰堤などの砂防関係施設を巡るツアーを主催し、実施している。
- 参考URL：
<https://www.pref.toyama.jp/1505/hakubutsukan/2023taikentorokko2.html>

工事専用軌道(トロッコ)に乗って、
砂防事業の困難さを体感！



国の重要文化財や、石積みによる
歴史的で空間美のある砂防堰堤！

西ノ谷堰堤

泥谷砂防堰堤

【富山県富山市・立山町】立山カルデラ砂防体験学習会 解説

<役割などの解説>

- (公財)立山カルデラ砂防博物館 (イベント主催、指定管理者)
 - ・(公財)立山カルデラ砂防博物館は、富山県立山カルデラ砂防博物館の指定管理者である。
 - ・砂防博物館は、立山の自然及び火山活動とその後の侵食によってつくられた「立山カルデラ」や、富山平野を土砂災害から守るために100余年にわたり続けられている砂防事業を、広く一般の方に知っていただくための役割がある。
 - ・また、「立山カルデラ」を博物館にとっての野外ミュージアムと位置付けしており、富山県と共に、立山カルデラ砂防体験学習会のイベント主催者となっている。
 - ・各箇所の説明・ガイドは、博物館職員、NPO法人富山県砂防ボランティア協会(元県職員)及び立山・神通砂防スペシャルエンジニア(元国土交通省職員)が中心となり実施している。
- 民間事業者 (旅行企画・実施、バス運行等)
 - ・砂防博物館から、旅行企画・実施及びバスの運行業務の委託契約を受け、運営に参画している。
- 国土交通省立山砂防事務所 (施設管理者・事業実施協力)
 - ・事前相談を含めて、見学の可否、見学にあたっての留意事項等について、協議する。
 - ・工事専用軌道であるトロッコに参加者を乗せて運行を行っており、トロッココースの催行に際して、職員を同行させている。

<注目ポイント>

- ・ツアーでは、立山砂防事務所の工事専用軌道(トロッコ)を使用し、常願寺川沿いの急峻な山道を8か所38段のスイッチバック、12のトンネル、18の橋を渡り、約18kmを移動し、砂防施設、立山カルデラの壮大さを間近で見ることができる。
- ・また、トロッココースの他に、バスコースも実施しており、年間であわせて1,500名程度の参加者枠を設けている。(※コロナ禍以前)
- ・国重要文化財として指定されている「常願寺川砂防施設」である白岩堰堤砂防施設(平成21年指定)、本宮堰堤、泥谷堰堤(平成29年に追加指定)を実際に、現地で見ることができる。
- ・「日経トレンディ」2023年7月号「死ぬまでに行きたいインフラランキング」第3位

<実施体制の概要>

見学場所、説明内容などの調整

説明・ガイド

NPO法人富山県砂防
ボランティア協会
立山神通スペシャル
エンジニア

旅行企画・実施
民間事業者

(公財)立山カルデラ砂防博物館
※富山県立山カルデラ砂防博物館の指定管理者

協議調整
↑
指定管理委託

必要に応じて
助言等
協議調整

富山県砂防課

必要に応じて
協議・調整

国土交通省
立山砂防事務所

- ・工事専用軌道等の維持管理
- ・軌道車両の運行管理
- ・カルデラ内の施設等管理

【北海道美瑛町】 青い池（美瑛川ブロック堰堤）



ダイナミックSABOプロジェクトWeb ↑



世界的に有名な青い池！



<概要>

●実施主体：美瑛町

●砂防管理者・事業者；

- ・北海道
- ・国土交通省 北海道開発局
旭川開発建設部 旭川河川事務所
- ・美瑛町

●概要；

- ・美瑛町が実施主体となり、2020（令和2）年から駐車場等の運営実施している。
- ・観光拠点を結ぶサイクリングロードやサイクルマップを整備し観光客を募る。
- ・十勝岳火山砂防情報センターを巡る日帰りツアーなどに事業説明等に関して協力している。



平日でもたくさんの観光客が訪れる青い池！

青い池に近接する駐車場の利用状況



インフラツーリズムに職員が協力！



各観光拠点と青い池を結ぶサイクリングロード！

【北海道美瑛町】 青い池（美瑛川ブロック堰堤） 解説

<役割などの解説>

●青い池 空間利用

■青い池は美瑛川に整備した砂防堰堤に湛水した河川水が光を反射して青く見えるようになり、海外大手の会社がパソコンの壁紙として利用したことから世界的にも有名になった場所。

○美瑛町

青い池の空間を包括的、持続的に地域活性化に資する目的で占用し、駐車場、トイレ、階段等を整備。

駐車場の領収書の半券により町内の飲食店等でサービスが利用できるように調整。

○北海道

砂防指定地管理者として、占用許可の手続きを実施。

（管理、維持、修繕に関する事項を附帯条件として設けている）

○国（北海道開発局 旭川開発建設部）

青い池の砂防施設としてのPR。

青い池の占用許可について事業実施者として、北海道と協議し同意。

<関連利用>

●青い池 サイクリングロード（美瑛川地区かわまちづくり計画とWGの設置）

○美瑛町

「美瑛川地区かわまちづくり計画」を策定。美瑛川の堤防をサイクリングコースとして利用し、地域観光資源エリア間の連携を目的に、ワーキンググループを設置

○民間事業者

サイクリングコースとして必要な整備や地域との連携方法、サイクリングロードのPR方法等の議論に参加。

○国（北海道開発局 旭川開発建設部）

河川管理者として、堤防天端の舗装や河道管理の目的で樹木の伐採。

サイクリングロードのPRとして、広報事業を活用し、外国人観光客にもわかるように英語表記等のパンフレット等を作成した。

●青い池 インフラツーリズム

○民間事業者 応募。

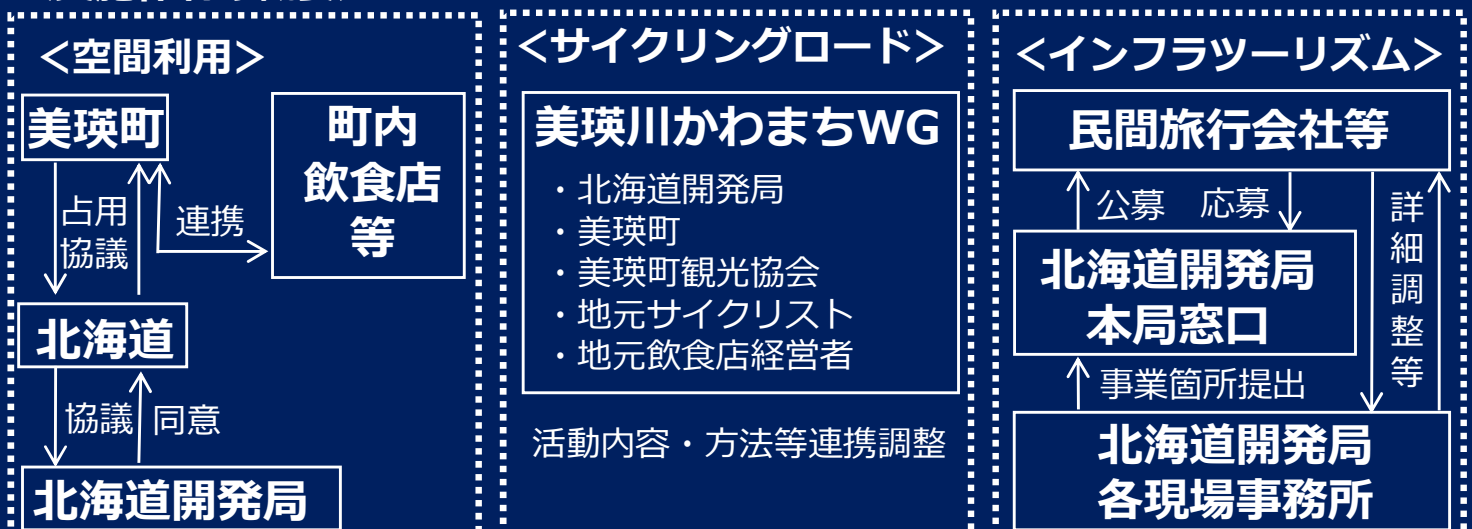
○国（本局） 事業箇所をリスト化、公募。

○国（事務所） 民間事業者と詳細調整及び現地説明。

<注目ポイント>

- ・青い池を中心に3つの活動を行い観光資源として活用、駐車場の領収書の半券を利用し町内にも訪れるようにサービス券として利用することで地域活性化を行っている。

<実施体制の概要>



【秋田県仙北市】ボルダリングウォール



↓仙北市役所Web



ダイナミックSABOプロジェクトWeb ↑

ホールドは自然石で、砂防堰堤を横断（トラバース）！

←水沢第2砂防堰堤（国）

↓ボルダリングウォール（市）

＜概要＞

●実施主体：仙北市

●砂防管理者・事業者；

- ・秋田県
- ・国土交通省 湯沢河川国道事務所

●概要；

・観光地である当地域ではスキー場のグリーンシーズン活用を進めており、隣接する砂防堰堤も観光資源の一つとして活用

・地元、仙北市、国交省、クライミング専門家で検討会を実施し、水沢第2砂防堰堤の壁面をボルダリングとして活用することを決定、ボルダリングウォールは仙北市で管理。

●参考URL；

https://www.city.semboku.akita.jp/sightseeing/spot/03_mizusawa_bouldering.html

砂防堰堤を触って登ってスケールを体感！

水沢第2砂防堰堤
ボルダリングウォール

遊び方

- ・運動靴やボルダリングシューズなど、運動しやすい靴を履いて遊びましょう。
- ・靴の土や泥を落としてから遊ぶようにしましょう。
- ・各コース毎に遊ぶこと、初級～上級コースまで通して遊ぶことも可能です。
- ・コースの途中で落ちた場合は、各スタート地点に戻って再開しましょう。
- ・みんなが使う施設ですので、大切に利用しましょう。

ボルダリング経験者の方へ

- ・チョークが足りない場合は、お手紙をおかけし、お返しをさせていただきます。
- ※ ロジックチョークの使用はできません。

注意！

- ・準備体操や柔軟体操を行い、けがなどないように各自で十分に注意しご利用ください。
- ・爪を短く切ってご利用ください。付け爪も危険です。
- ・腕時計や指輪、ネックレス等のアクセサリー類は外しましょう。
- ・お子様連れの方は、保護者の方が十分に注意のうえ、ご利用ください。
- ・飲酒状態での利用はご遠慮ください。
- ・火気（タバコ・花火等）を使用しないでください。
- ・ボルダリング壁面下には、物を置いたり座ったりしないでください。
- ・ゴミ等は各自でお持ち帰りください。
- ・事故・トラブル等については、当施設は一切の責任を負いませんのでご了承ください。
- ・気持ちよくご利用いただくため、皆様の安全とご満足をお願いします。

ホールド等に破損などがありましたら、お手紙をおかけしご連絡ください。 仙北市観光課 電話0187-43-3352



真夏のスキー場でボルダリング！

IFSC国際公認ルートセッターによる本格コースで

火山砂防施設を身近に！

【秋田県仙北市】ボルダリングウォール 解説

<役割などの解説>

●砂防インフラ活用検討会

- ・インフラを活用した観光支援に取り組むため、仙北市（観光文化スポーツ部、建設部、田沢湖市民センター）、地元関係者（鶴の湯温泉、田沢湖・角館観光協会田沢湖支部、田沢湖高原リフト（株））、国交省にて構成。
- ・アドバイザーとして国際スポーツクライミング連盟公認ルートセッターの東氏を招聘。
- ・活用・連携内容、活用にあたっての役割分担などを議論。

https://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/21_komagatake/08-infrakentoukai.html

●仙北市

- ・ボルダリングウォールの整備・運営主体として、ボルダリングホールド・案内看板の整備、維持管理、安全管理を実施。
- ・砂防指定地内行為・占用許可を砂防指定地管理者から取得。
- ・利活用の協定を砂防堰堤事業者（国交省）と締結。

●民間事業者

- ・仙北市の委託により、ボルダリングウォールの維持管理、安全管理を実施。

●秋田県

- ・砂防指定地管理者として、砂防指定地内の行為制限及び占用等について許可・助言等。

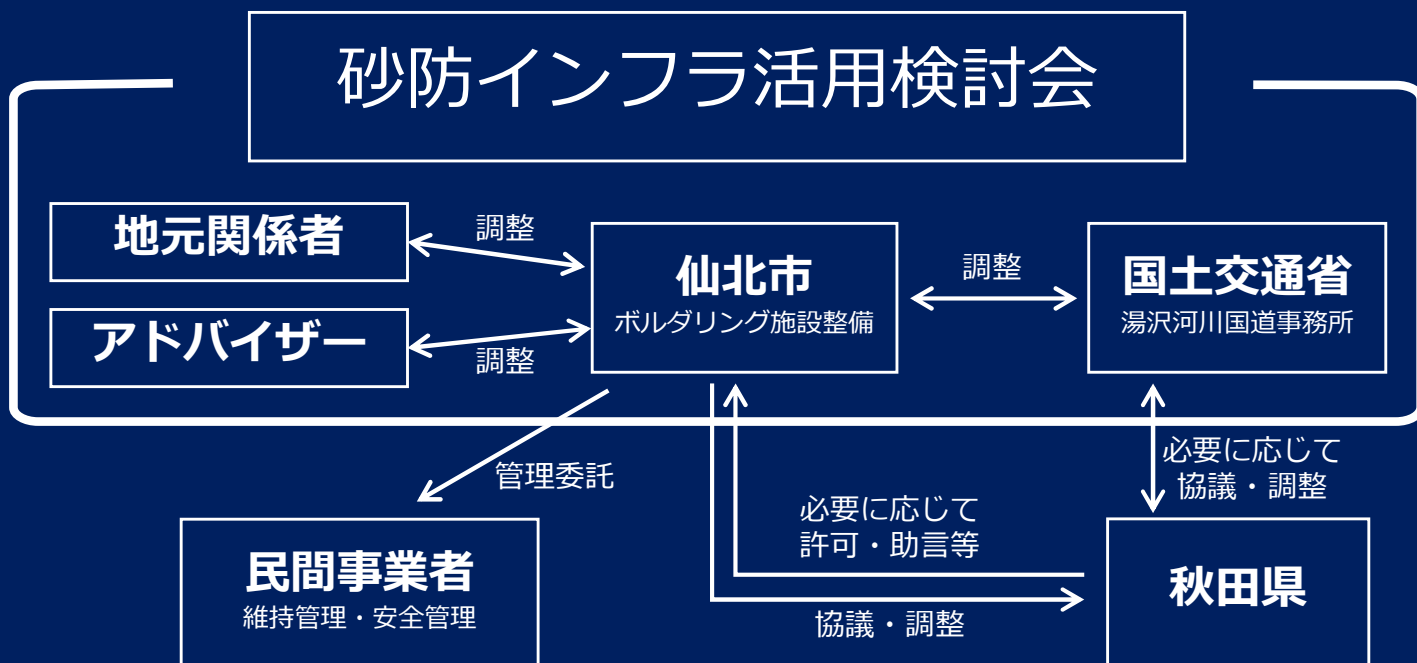
●国土交通省（湯沢河川国道事務所）

- ・砂防工事の事業者として、砂防堰堤整備を実施。

<注目ポイント>

- ・当地域は周辺に温泉が点在し、年間を通じて県内外から観光客が訪れる。グリーンシーズンのスキー場にて、隣接する砂防堰堤の有効活用したボルダリングウォール、周辺のeバイク、展望台、ハイキング等により、豊富なアクティビティを提供。
- ・砂防堰堤の活用にあたり、砂防インフラ活用検討会にて、関係者間の役割分担を調整。
- ・国際公認ルートセッターにより、初級から上級まで本格コースを用意。
- ・令和4年5月21日にオープン。地元小中学生の校外学習やスキー場管理者主催の宿泊体験など、延べ32回の団体利用で約1,300人が利用（個人利用は除く_R4.5~R5.9）。

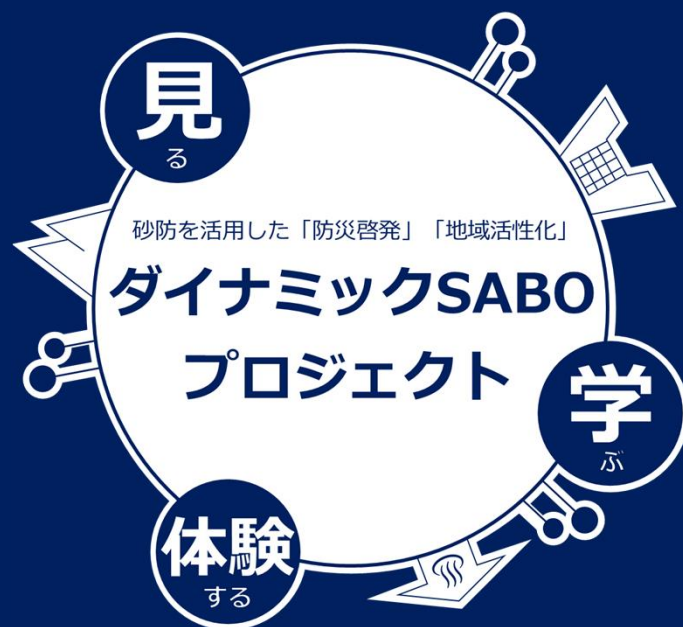
<実施体制の概要>





ダイナミックSABOプロジェクトWeb

https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/dynamic_sabo.html



ダイナミックSABOプロジェクト支援チーム事務局
(国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部)

